

# あなたの声を町政に

11人が町長・教育委員長・代表監査委員に一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

大山町は、1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
17	1. 法令遵守と職場・職員間の協調性について 2. 小・中学校での障がい理由で体育授業の見学者はいないか	大杖 正彦
18	1. 大山寺診療所の位置づけは 2. 職員を告発しない理由は 3. 子育て支援の充実を	圓岡 伸夫
19	1. 監査の重要性 2. 町長の出馬表明について	西尾 寿博
20	1. 学習指導要領の改定の準備は 2. 地域自主組織の行方は	吉原美智恵
21	1. 新聞報道の真実は 2. 内部報告の認識は	米本 隆記
22	1. 27年度決算の財産に関する調書の修正面積の調査結果とその背景 2. 大山町の発展と土地利用	野口 昌作
23	1. 定住化促進対策は 2. 学校教育の現状は	杉谷 洋一
24	1. NPO法人との委託契約問題から得られる教訓は何か 2. 「住宅リフォーム」助成事業の継続を	大森 正治
25	1. 家庭保育支援給付金事業について 2. 雪害対策はこれで良いか 3. 大山口・佐摩線県道の振興は	大原 広巳
26	1. 職員の懲戒処分について	近藤 大介
26	1. 大山町らしいおもてなしをどうするか	遠藤 幸子

## 一般質問席

議事録は、議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。



大杖 正彦 議員

# 職場間の協調性を

町長

## 県の「認め合い運動」を参考に



求められる職場内の協調性

【大杖】 今回のNPO法人業務委託問題で、議会では真相究明のため、調査特別委員会を設置した。

真実を明らかにすること、なぜ発生したか原因を探り町民ファーストの「楽しさ自給率の高い町」づくりを考えることが大切だが。

【町長】 県の取り組みなどを参考に、コンプライアンス（法令遵守）や人権についての研修を実施する。

職場内での話し合いを通して、風通しの良い職場づくりに努める。

【大杖】 幹部同士の報告会などで、お互いの長所や悩みを相談し合える雰囲気や協調性はあるか。

形式的になっていないか。

【町長】 最近、会議数が多く全員で集まり話し合う時間が少ないのが現状。

職員間の問題提起や内部通報制度がある。職員に周知していく。

# 障がい児童・生徒の

# 体育授業見学者は

教育委員長

## 町内ではない

【大杖】 最近、障がいを抱える児童・生徒が増えている。

町内の小・中学校で、障がいを理由に体育の授業を見学している生徒はいないか。

【教育委員長】 車椅子の体験や目隠しをして校内を歩くなど、障がい者と同じ環境・立場

で実施して理解を深める取り組みをしている。

【教育委員長】 町内ではない。特別支援学級に在籍している児童も同学年の児童と体育の学習を楽しく取り組んでいる。

【大杖】 本町の野外活動で、障がい者のスポーツ活動を支援することが必要だ。例えば、体育や運動を同じように体験して、障がい者の気持ちを理解する取り組みは考えないか。



体が不自由な人の立場になって



丸岡 伸夫 議員

# 診療所の数は3か4か

町長

4が正しい

【丸岡】県のへき地保健医療計画を見ると、本町には4つの国保の直営診療所があることになっている。  
 これまでの予算審査や決算審査では、大山、大山口、名和診療所の3診療所だけで、大山寺診療所が議会に説明されたことは一度もない。  
 3が正しいのか、4が正しいのか。  
 3が正しいのであれば、県に対し訂正を求めべきではないか。  
 【町長】県に届けている町の国民健康保険診療所は、4が正しい。大山寺診療所は、旧大山時代から開設していて、当時から「国民健康保険大山寺診療所」の名称で冬季のみ開設している。  
 運営経費はだいせんホワイトリゾートが全額負担しているので、診療所特別会計では3診療所で報告している。

# 行政処分をしないのはなぜか

町長

町に権限はない

【丸岡】刑事訴訟法第239条2項では犯罪があつたと思われるときは、告発しなければならぬと定められている。告発しない理由は何か。  
 NPO法人に委託されたみんなの大山賛歌制作委託業務仕様書には、プロモーション映



これが問題のCD

像を作成とあるが、取り組まれていない。法人を行政処分しなかったのはなぜか。  
 【町長】現在、告訴に向け、関係機関に相談、準備を進めている。  
 町には、NPO法人に対して行政処分をする権限がない。

# 完全給食の実施を

町長

今後の課題としたい

【丸岡】保育所の完全給食を実施すべきではないか。  
 【町長】3歳以上児に主食を含めた完全給食を行うと、主食部分の費用は保育料とは別に徴収することになる。  
 【丸岡】母親からは「夏は腐ることが心配」、子どもからは「おかずはおいしいけど、ごはんが冷たいからいや」という声がある。対応すべきではないか。  
 【町長】現状として、そういう声もあるのかと思う。今後の課題とさせていただきたい。



楽しみな給食を前に



西尾 寿博 議員

# 監査のあり方は

代表  
監査委員

## 制度と時間の制約があった



議会で調査した証憑書類

【西尾】 議会は、住民の代表として、限りある予算の中、効率よく、公平・公正のもと、住民福祉の向上に貢献しなくてはならない。監査委員はチェック機能の要として重要な機関である。

今回の監査報告書は全般的に解明できないという内容であり、その場合は監査のあり方を改善する必要があるのではないか。

【代表監査委員】 提出

された証憑書類しやうひんしゆりの範囲内で検査ができるものなので、監査の制度上の制約、あるいは時間の制約があった。

監査のあり方の改善については、行政側の協力あるいは財政援助団体等の協力を前提とした監査制度であるため、今回のような監査においては、例えばプロジェクトチームを組んでの対応が必要だったのではないかと考えている。

# 町長の出馬表明は

町長

魅力あふれる

元気な町をめざす

【西尾】 町長選出馬を2月14日の新聞報道で知った。

議会軽視、町民軽視があつてはならない。議会には出馬するような意向はなかった。出馬の意欲、施策について、町民に表明されるべきだ。

【町長】 めざすところは、大山のさまざまな恵み、これを生かし、若者から年配の人までみんながいつまでも暮らし続けたい、楽しさあふれる、魅力あふれる元気な町、これをめざしたい。

【西尾】 今後の課題を示すことが重要では。

例えば、大山観光局、恵みの里公社、2本柱

がうまくいかない。国保については、一般財源から補てんしなければ運営できない。少子化によって学校の存在が危ういことなど。

【町長】 まずしないと

いけないことが4点ある。

子育てへの支援、格好い農業の展開、町民参画、地域での見守り・支え合いである。



町長室...



吉原 美智恵 議員

# 学習指導要領の 改定の準備は

## 教育振興会で準備を進める

教育  
委員長



体験学習は、楽しいな

【吉原】文科省は、去る2月14日に学習指導要領の改定案を公表した。小学校で英語が正式教科になったり、「特別の教科 道徳」が設けられたり、大きな変革が迫られる内容となっている。

早めの対応と準備は。

【教育委員長】グローバル化が進む中、外国語によるコミュニケーション能力が必要とされる。重点課題のひとつとして、町内の教職員と教育委員会事務局とで構成する教育振興会で準備を進めていく。

道徳についても、児童・生徒の内面をどのように見取り、記述していくか研修を行い、対応する。

【吉原】大山町では、何十年もA・L・Tを配置し、力を入れてきているが、英語の苦手な子どもをどう引き上げていくのか。

また、授業時間の確保も問題である。例えば公民館などで「英語村」を開設してはどうか。

【教育委員長】保育園からA・L・Tを配置し、力を入れていく。英語村はやってみよう。

# 地域自主組織の行方は

町長

## ともに検討し支援していく

【吉原】地域自主組織は、現在10地区のうち7地区が設立され、それぞれの活動を行っている。設立されていない3地区を含め、活動の差が広がってきたように見える。

国でも地域のあり方を問う検討がされているが、町でも地域の課題解決のための支援が必要ではないか。

【町長】それぞれ個性のある取り組みになっているが、活動の交流の輪を広げ、勉強しあう展開できればと思う。

人材の問題もあり、状況によって取り組みの違いは出てくる。



自主組織で海岸をきれいに

【吉原】人口減少や高齢化が進む中、自主組織の役割は大きくなる。

個々の地域が光り輝くことで、町全体の価値が高まるということを念頭において、行政

の職員と共に持続可能な運営が必要ではないか。

【町長】活動に対する支援として事業予算も組み、活動についてはともに検討し、対応していく。



米本 隆記 議員

# 領収書の無いものは 返金させては

町長 対象になれば求めていく

【米本】11月初めに新聞報道で発覚した職員によるNPOの不適切な事務は、いまだ毅然としない。  
執行部も調査することだったのだが、現在の調査状況は。

また、弁明書も職員Aの作成したものを提出したとNPOの理事長が話した。監査委員の調査報告書を根拠から覆すものにならないか。

【町長】追加資料の提出を求め現在調査中である。  
NPO法人として税務署の調査に応じている。契約は成立していると考える。

【代表監査委員】職務として聞いていないのでコメントは差し控える。

【米本】町民からも返金を求める声を聴く。どう対処するのか。

【町長】返金の対象になれば求めていく。



これも「だいせん」と読ませる事業

## 自ら調査しなかったのは

町長

### 事件性の認識がなかった

【米本】新聞報道で発覚した商工会との問題。執行部はこの問題を昨年報告を受けていたと聞いた。なぜ自ら調査しなかったのか。

また、1月にした職員Aの処分も不思議でならない。

【町長】この事業は今年度で終了するので、平成29年9月議会で処理する旨の報告を11月下旬に受けた。当時はこのような事件性があるとは認識していなかった。

1月の処分はNPOに関して行ったものである。

【米本】11月4日に口座は解約されている。

その後公金はだれが持っていたのか。

【町長】11月21日に聞き取りをしたとき口座解約は知らなかった。職員Aが現金で持っているとのことだった。

【米本】2月24日、この公金をだれが会計課に入金したのか。

【町長】職員Aが現金と通帳を持参し、総務課長が入金した。

【米本】町民はすべてオープンを見ていますか。

【町長】時間がかかっても状況を把握し、対処していく。

**大山町 自己居住用建物等改善助成制度**

大山町では以前より地域経済の活性化、町民の住環境の改善を目的として「大山町個人用住宅等改善助成制度」を実施しており、たいへん多くのご利用をいただいております。平成26年3月まで終了しました。平成27年度は制度を改善発展させ、より多くの町民に活用していただくため、内容を拡充し、より実効性のある制度として「自己居住用建物等改善助成制度」を新たに創設しました。内容等にも変更がありますので、ご確認の上ご利用ください。

**制度の概要**

**制度の対象者**  
大山町で町民が所有する個人用住宅等（水道料金・保育料など）に課税の無い方（同一世帯員を含む）で平成25年度までの「大山町個人用住宅等改善助成制度」で10万円以上の助成を受けていない方が対象です。

**対象となる工事**  
自ら居住する個人用住宅等の改修等で5万円以上（税込）の工事を町内の建築業者等に発注し、その業者が改修工事の半分以上を施工するものが対象です。個人の大工さん等に発注されるものは対象になりません。（店舗、農機具庫、倉庫、事務所、作業場等の事業用のものは対象になりません。）  
間伐料、町及びその他の機関から助成を受けるものは対象になりません。

**助成の内容**  
発注した工事の10%を助成します。1世帯あたりの助成の上限額は10万円までです。助成の方法は、町内の加盟店で使用できる大山町商工会の「お買物券」（使用期限は発行から6か月）でお返しします。

申請の手順  
申請書提出 → 対象の決定 → 改修等の工事開始 → 町への申請

申請書提出 対象の決定 改修等の工事開始 町への申請

地域経済の起爆剤が...



野口 昌作 議員

# 増えた町有地の調査結果は

町長

## 集計ミスがあり、点検集計中

修正された財産に関する調書

【野口昌】27年度決算の公有財産調書で、山林73ヘクタール、田畑・雑種地22・5ヘクタールなど、土地全体で131・8ヘクタール、学校など建物1万5千平方メートルが増加修正してある。

9月議会での一般質問に、今後調査すると答弁された。

調査結果とその背景は。

【町長】財産調書は、税理士法人に台帳作成

業務を委託し、一から積み上げ、全財産を把握するべく作成した。

議員指摘の山林は、立木の面積が加算されていることが判明した。

来年度決算に向け、点検を行っている。職員に至らぬ点があったことは事実である。

※平成28年度決算からの公会計導入による固定資産台帳整備が求められている。

# 有効な土地利用で町の発展を

## 町の発展を

町長

### 安易な規制緩和は

### 農業発展を阻害

【野口昌】小規模三角田など条件不利地や荒廃農地について、有効な土地利用ができるよう法規制の緩和など考えないか。

【町長】安易な規制緩和は本町農業の発展を阻害する。慎重な対応が肝要である。

農業振興を積極的に推進している本町としては、すでにある制度を活用しながら、現行法令で対処できる場所に計画的に開発を誘導することで、無秩序な開発を防ぎながら、効果的な土地利用を進める。



農地は農地法で守られている



杉谷 洋一 議員

# 定住化促進対策は

町長

## 拠点地区の移住定住の加速を

【杉谷】本町の人口増対策として、立地条件のよい山陰道IC付近に分譲住宅団地の造成を以前から提案している。その第一歩である「大山口南団地」の現状は。

【町長】現在14区画中、9区画の応募があり、完売に努めている。

【杉谷】道の駅「大山恵みの里」隣接の住宅団地の現状は。

【町長】民間事業者の造成で、現在8区画中5区画が予約済である。

【杉谷】末長堤を利用し



完売間近の大山口南団地

た住宅団地の概要は。

【町長】町所有地の活用で民間事業者に企画提案を募った。「子育てしやすく・高齢者に優しいまちづくり」のコンセプトで31区画と緑地公園が計画され、平成29年度中に完成予定である。

【杉谷】分譲住宅団地の条件緩和は。

【町長】県と度重なる協議を経て本町独自の制度として、拠点地区を設け民間宅地開発を可能としたものであり、本制度により移住定住を加速させたい。

# 学校教育の現状は

教育委員

理科・英語など

教育力の向上を

【杉谷】理科の興味や関心が希薄となっていると指摘されている。

自由な研究などによる「おもしろさ」の理科教育は。

【教育委員長】大山小学校が「小学校理科教育パワーアップ事業」の指定をうけ、「自らの気づきや考えを深める子どもの育成」をめざし取り組んだ。

その理科教育の研究成果を町内や西部地区の他校に発信し、教育力の向上に努めたい。  
【杉谷】今後の学習指導要領の改定にともなう小学校の英語教育は。

【教育委員長】国・県の動向をふまえて、時間

数増加や先生の教育研修・教材の開発などを対応したい。

【杉谷】読書習慣の未形成からの活字離れによる読解力の低下が指摘されているが、本町

の小中学校の現状は。

【教育委員長】今年度の図書館利用の調査結果は国や県よりも高いが、利用しない児童・生徒もあり、関係機関と連携し対応したい。



国際宇宙ステーションと交信（大山小）





大森 正治 議員

# 不適切な事務の改善は

町長

## 検討委員会の改善策に沿って進める



改善を求められる行政

【大森】町とNPO法人との委託契約問題で、一職員による多くの不適切な事務と経理、職務専念義務違反があった。町長は町民や町職員に明確な説明をすべきである。

職員自身の責任は大きいですが、町行政の在り方も問われている。これを教訓に、町行政の再出発が重要。今回の核心的な問題は何と考えているか。

【町長】委託側と受託側が同一の町職員であったことである。問題発生の原因は、ベテラン職員で、長年同業務に従事していたこと、検査などの不十分さ、また、チェックの不十分さにもある。

【大森】どんな改善・改革を考えているか。

【町長】精通した職員でも、ある程度の年数で異動を行うことが必要である。検討委員会ですべて改善を進める。

# 住宅リフォーム助成事業の継続を

町長

## 住民ニーズを考慮し検討する

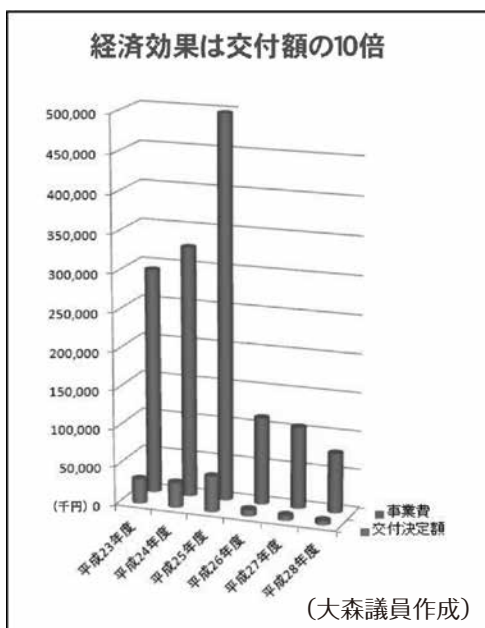
【大森】この事業は、町内業者の仕事おこしなどによる地域経済の活性化、町民の住環境の整備を目的に町単独事業として創設された。

地域経済は依然好況感はなく、この事業への町民の要望も高い。事業を中止する理由がわからない。

6年間の事業の状況と業者・町民の反応はどうか。

【町長】反応は好評であった。

【大森】交付決定額に対する事業費は、どの年度も10倍以上、つまり、10倍以上の経済効果である（グラフ参照）。



事業費と交付決定額の推移

照)。なのに中止する理由は何か。

【町長】元々期限を設けた事業であった。成果はあったと思うが、現状の中で検証し判断していく。

【大森】不祥事と事業は別問題。再開を。

【町長】意見は参考意見として預かる。



大原 広巳 議員

# 家庭保育支援の充実を

町長

## 満2歳まで延長する

【大原】事業の背景は。【町長】乳幼児期に親子の愛情感情をしつかり定着させることが大切である。

可能な限り保護者が家庭で養育できるように、費用の軽減を図っていきたい。

【大原】初年度の実績は。【町長】年4回の支給で、2月までに総額約830万円を、約70人に給付している。

また、0歳児の人口に対する入所希望は、平成28年の53%から、平成29年は47%に減少したが、1歳児は逆に68%から84%に増加した。

【大原】対象児を満2歳まで延長する理由は。【町長】県が全国に先駆けて創設する「おうちで子育て支援事業」を受けて、延長を決めた。

子育て世代包括支援センターと連携する。

# 雪害対策はこれでよいか

町長

## 体制を強化する

【大原】本年2度の大雪での除雪対応は。【町長】1月にはバス路線の運休や、スクールバスの遅延など、生活路線の除雪完了まで5日間要した。これを受け、2月には除雪体制を強化し、なんとか対応した。

【大原】集落での除雪には限界があると思うが、今後の対応は。【町長】15センチ以上の積雪で、24集落との除雪委託を行っているが、本年は現時点で62集落へ除雪費の助成をした。

平成23年以來の豪雪対応となった。



活躍するロータリー除雪車

# 大山口・佐摩線にニックネームを

町長

## 検討したい

【大原】大山開山1300年を前に、大山道路に新たなネーミングをつけてはどうか。

また、大山口駅や御来屋駅などに、宣伝看板や垂れ幕などを設置すべきと思うが。

【町長】観光協会や地元住民の声を聞きながら、検討していく。

【大原】本町に5カ所あるJRの駅周辺のガイドマップで、里部から海岸地域のPRを強化し、全町的な魅力を発信すべきと思うが。

【町長】エコトラック事業の進展とともに、駅周辺の詳しいマップも検討していきたい。



素敵な名前が欲しいな



近藤 大介 議員

# 告訴検討の職員の退職金は

町長

止める措置をとる



退職金の事務は、組合に委託している

【近藤】平成29年1月に公表された職員の懲戒処分について、処分が軽すぎるという声が多くある。処分の内容は妥当だったか。

【町長】懲戒処分にあわせ分限処分も行っており、重い処分だったと考えている。

【近藤】退職した職員の在職中に非違行為があったことが退職後に判明した場合、支払われた退職金の返還を求めることは可能か。また、退職時に、そのような事態が予見される場合、退職金の支払い

を一時的に止めることは可能か。

【町長】在職中の行為に関して退職手当管理組合が、懲戒免職等処分を受けるべき行為をしたと認めるときなどに可能で、一時的に退職金の支払いを止めることも可能である。

【近藤】当該職員には刑事告訴も検討されているとのことだが、退職金の支払いを止める手続きをすべきではないか。

【町長】退職金の支給は、止める措置を取っていく。

# 大山町らしさでおもてなしは

町長

いや  
訪れる人が癒しを  
体感できること

【遠藤】大山開山1300年に向け、おもてなしが大切。本町らしいおもてなしを、どう考えるか。

【町長】大山の恵みを取り入れた食。歴史、文化の体験。自然を味わう。それらを通して訪れる人が癒しを体感する。それが本町らしいおもてなしだと思う。

各季節ごとの食材を生かした料理や、女性をターゲットにした料理を開発中である。各



大山町のおいしいものの試作品

分野で多くの人が、食でのおもてなしに取り組み中である。

【教育委員長】大山小の児童が、大山の自然、歴史を観光客に説明する「大山レンジャー」という取り組みをしている。地域に関心をもち、地域社会に参画する意識を高めることが狙いであり、観光客にたいへん喜ばれている。これが本町らしいおもてなしの一助になれば喜ばしいことである。